

Slovenia Monthly January 2023

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2023年2月16日



～1月の主なポイント～

- 内 政：** 省庁再編が完了
政府の医療改革計画の発表
医療・司法をはじめとする各業界からの賃上げ要求
- 外 政：** リュブリャナでロシアのスパイ2人が逮捕

政治

【内政】

●かかりつけ医のいない患者への対応【3日】

3日、医師不足に直面しているスロベニアでは、健康保険はあるがかかりつけ医のいない患者が約13万人おり、こうした人々に一次医療サービスを提供するための地域ヘルスセンター設置の準備を始めている。改正緊急医療法が1月1日に施行され、全国に94のセンター、リュブリャナだけでも19か所が計画されている。

●リュブリャナ市の主要プロジェクト【3日】

リュブリャナ市議会の二大政党ゾラン・ヤンコヴィッチ・リストと自由運動党は、新しいバス・鉄道ターミナルの建設、新しい病院、国立図書館の拡張、ドラマ劇場の改修など、6つの主要プロジェクトに焦点を当てた連合協定に調印した。ゾラン・ヤンコヴィッチ・リストのアレシュ・チェリン議員は、両党が都市の発展に同様の見解を持ち、イデオロギー的に近いために、自由運動党と連合することは難しくなかったと述べた。

●行政の近代化のための協議会が始動【17日】

アヤノヴィッチ＝ハウニク公共行政相は、行政の近代化のための専門家評議会を設立したと発表した。この新しい諮問機関には、学界、企業・業界団体、非政府セクター、公共・公務員のメンバーが招かれている。

●医療改革計画【18日、20日、27日】

18日、与党3党の党首がブルド・ブリ・クラニユで医療について協議し、国会議員を含む全員が医療改革に協力する合意書に署名することで合意した。

20日、ベシッチ＝ロレダン保健相は、医療改革の概要を発表し、スロベニアが2025年の初めに上乗せ健康保険を廃止することを発表した。政府は、フィンランドやエストニアのモデルに従い、効果的でデジタル化された持続可能な医療を目指す。主要な目標は、プライマリーレベルでの患者の基本的な治療を再確立することだが、その前提条件として、公共部門の給与改革と公的医療保険基金の改革が挙げられた。また、医療をめぐる状況は、平均給与やGDPよりも支出が増加しているため、対策を講じなければ15年後には資金が枯渇すると警告した。医師会はこの医療改革計画を歓迎した一方で、市民団体「国民の声」は、公的機関と民間機関の医師の二重診療に関する利益相反、医師が公的制度からコンセッショナアへ移ることを促す財政不均衡、公的医療の平等性の観点から批判した。

27日、保健医療改革の解決策を提案する役割を担う保健医療戦略会議が初会合を開き、医師不足に対処するため、国内に2つある医学部への入学人数の増加について議論すると発表した。ベシッチ＝ロレダン保健大臣は、必要な医師1,000人は8年以内に自国で養成できると述べた。

●新たな移民・統合戦略の策定【18日】

内務省は、労働力不足対策として、統合戦略に支えられた新たな移民戦略の策定を発表した。今年の第一四半期の採択に向けて準備される。また、外国人の雇用を促進するため、外国人法改正も起草されている。アヤノヴィッチ＝ハウニク公共行政大臣が内相代理として発表した。

●各社の世論調査で政府支持率が下落【16日、23日】

16日、Vox Populi社の世論調査で、昨年6月1日にゴロブ内閣が発足して以来初めて、政府の仕事に不満を持つ人の割合（47.3%）が支持者の割合（46.1%）を上回った。自由運動党（GS）の支持率も27.8%に低下している。一方、前外務大臣で大統領候補でもあった民主党（SDS）ロガル議員は、現役政治家の人気投票で上位にいる。

23日、メディアナ社が放送局POP TVのために実施した世論調査でも、ゴロブ政権への支持率が下がり続けていることが示された。1月の政府支持率は3ポイント近く下がり50.6%となり、昨年の選挙以来最低の支持率である。一方、政府を支持しない人は35.5%で、13.9%が未回答である。政党別では、GSが1.6ポイント減少したものの28.3%と引き続きトップで、最大野党のSDSは1.7ポイント増の20.3%と支持率を伸ばした。

●省庁再編が完了【24日】

24日、国民議会はゴロブ政権の9名の閣僚を承認し、ゴロブ首相が当初計画していた省庁再編が完了した。これによって、政府は20名の大臣、うち1名は無任所大臣となった。新閣僚が3名、更に6名の閣僚の概要が変更され、議会による新たな正式承認が必要となった。デジタル変革と結束政策を担当していた2つの政府機関は省庁に昇格した。

（1）新たに閣僚となった3名

ブラトゥシェク・インフラ大臣

フェルダ教育大臣（幼稚園・保育園から高等学校までを所掌）

マリェヴァツ連帯に基づく未来大臣

（2）所掌等が変更となった6名

ハーン経済・観光・スポーツ大臣（経済開発・技術大臣から所掌変更）

パピッチ高等教育・科学・イノベーション大臣（教育・科学・スポーツ大臣から所掌変更、大学以上の教育機関を所掌）

クメル環境・気候・エネルギー大臣（前インフラ大臣）

ブレジャン天然資源・空間計画大臣（環境・空間計画大臣から所掌変更）

イエウシェク結束・地域開発大臣（無任所大臣から大臣に変更、庁が省に昇格）

ストイメノヴァ＝ドゥフ・デジタル変革大臣（無任所大臣から大臣に変更、庁が省に昇格）

（3）なお、議会承認の対象ではないが、外務大臣は外務・欧州大臣に名称変更された（所掌内容は変更なし）。

●スロベニア、内部告発者保護の法案を可決【27日】

国民議会は、官民の内部告発者の保護に関する法案を52対23で可決し、法律違反を報告する手段を定め、報告者を保護する一連の措置を導入した。報復の禁止や、内部告発者の身元を保護する義務などが含まれている。この法案は、2021年12月までに移項されることになっていたEU指令を移項したもののだが、政府は、この法案はEUの規制だけでなくあらゆる規則違反に対応できるとしている。

●医師・裁判官の賃上げ【9日、10日、12日、13日】

スロベニアの医師と歯科医師は1月11日にストライキを予定していたが、同9日に労働省とFides（医師と歯科医師の労働組合）の交渉が行われ、最後に医療協会の仲介によって合意に達し、ストライキは回避された。Fidesの主な要求は20%相当の賃上げで、若手医師は20%、シニア医師は8%の賃金アップという政府案に反対していた。12日、政府は、Fidesとの協定を承認し、2024年までに公共部門に医療関係者の新しい給与体系を設けるか、医師の賃金を別途交渉することを約束した。

10日、ゴロブ首相は裁判官協会の総会に出席し、公共部門の給与体系の中に特別な司法報酬を設定する計画を発表した。また、政府は裁判官・検察官に月額600ユーロの即時ボーナスを導入することを決定した。（ただし、本ボーナスについては2月2日に一旦撤回。）

13日、財務省は、この週に（医師及び裁判官と）合意した取引の財政的影響は、2022年10月に公共部門の労働組合と合意した6億1,100万ユーロの賃金取引の範囲内であり、財政の安定を危険にさらさないと述べた。一方、多くのエコノミストは、最低賃金の上昇と公共部門における賃上げ要求の増加により、財政にますます負担がかかると警告している。

裁判官、医師等の賃上げが発表された後、警察官労働組合と消防士労働組合を含む多くの団体が同じ要求を表明しており、要求が受け入れられない場合は産業行動を起こすと述べている。

●スロベニア、腐敗認識指数で1ポイント失う【31日】

トランスパレンシー・インターナショナル（TI）が発表した腐敗認識指数の報告書によると、スロベニアは180か国中41位と、前年と同じ順位であったが、指数は1ポイント減で、100点満点中56点とこれまでで最

も低い点数となった。TIスロベニアはこれを「非常に憂慮すべきことであり、すべての意思決定者が汚職に対する非容認を維持しない限り、この傾向は続くと考えている。」とした。

【外政等】

●クロアチアのシェンゲン協定及びユーロ圏加盟【1日】

1日、ピルツ＝ムサル大統領、クロアチアのプレンコビッチ首相、フォン・デア・ライエン欧州委員長はスロベニアのオブレジェで会談し、クロアチアのシェンゲン圏への加盟とユーロ導入を祝った。プレンコビッチ首相は、クロアチアはシェンゲン圏加盟とユーロ導入を同日に実施した唯一の国だと述べ、また、ボスニア・ヘルツェゴビナがEU加盟候補国として認められたことに満足感を示し、クロアチアは、「電線やフェンスのない」新しいシェンゲン国境の安全を確保するために、国境警備の能力を再編成すると述べた。ピルツ＝ムサル大統領は、EU拡大の重要性について言及し、統合が唯一の可能な道であり、これは西バルカン諸国にとっても当てはまると述べた。

●名誉教皇ベネディクト16世の葬儀【5日】

ピルツ＝ムサル大統領は、シュトンフ駐バチカン・スロベニア大使、ゾレ・リュブリャナ大司教とともに、バチカンで行われた名誉教皇ベネディクト16世の葬儀に参列し、名誉教皇が同胞の尊厳、連帯、貧しい人々や弱者への思いやりを重視したことを高く評価していると述べた。

●スロベニア、ECOSOC理事国に就任【6日】

スロベニアは、2023年より、国連経済社会理事会（ECOSOC）のメンバーとなった。ECOSOC理事国への就任はスロベニアにとって初めて。外務省は報道発表において、スロベニアは2017年に立候補を表明し、2022年7月に選出されたと発表している。

●スロベニア・ウクライナ大統領電話会談【9日】

ピルツ＝ムサル大統領は、ウクライナのゼレンスキー大統領と初めて電話会談を行い、ロシアの侵略と戦うウクライナに対する揺るぎない支持とウクライナの指導者と国民の勇気に対する感謝の意を表明した。ゼレンスキー大統領は、これまでの支援への感謝を述べ、さらなる支援を要請した。

●空軍への大規模な投資を発表【12日】

シャレツ国防大臣は、ツェルクリエ・オブ・クルキ軍事基地で行われたスロベニア・軍事航空日の記念式典で、空軍への大規模な投資、つまり新機材、新機能、そして主に本年到着予定の新輸送機用の格納庫建設への投資を発表した。

●ファヨン外相、西バルカン歴訪【13日】

13日、ファヨン外相は、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ（BH）においてトウルコビッチ外相と会談し、EU加盟に向けたBHの努力を具体的な政治的支援によって

引き続き支えていくと述べた。また、BHの3人の大統領評議会メンバーと会談し、法の支配を強化するためにあらゆる努力をするよう促した。ボスニア・ヘルツェゴビナ側は、EU候補国地位の獲得におけるスロベニアの支援に感謝を表明した。

15日、ファヨン外相はモンテネグロを訪問し、モンテネグロに憲法裁判所の裁判官を任命するよう呼びかけ、「政党が対話を行い、遅滞なく裁判官を任命することを希望する」と述べた。モンテネグロのジュカノビッチ大統領、ジュロビッチ議会議長、アバゾビッチ首相と会談し、任命は「市民の基本的権利の尊重と制度の安定を確保するために不可欠」だと述べた。

16日、コソボを初めて公式訪問したファヨン外相は、コソボのEUおよびNATO加盟の努力と地域および国際同盟への統合において、スロベニアがさらなる支援を行うと述べた。同外相は、コソボ国際安全保障部隊（KFOR）とコソボにおける欧州連合・法の支配ミッション（EULEX）におけるスロベニアのプレゼンスを強化することを発表し、コソボとセルビアの関係の正常化を促した。ファヨン外相は、コソボのゲルバラ外相と、経済協力をはじめとする二国間関係強化のための努力について話し合い、ヴィヨサ・オスマニ大統領、クルティ首相にも面会した。

●スロベニア、ナポリに領事館を開設【14日】

スロベニアは13日にナポリに領事館を開設し、ヤコポ・フロンゾーニ氏が領事を務めると外務省がツイッターで発表した。ローマの大使館、トリエステとミラノの総領事館を含むスロベニアの外交ネットワークに追加される。

●オルリッチ・セルビア議会議長のスロベニア訪問【19日】

オルリッチ・セルビア議会議長がスロベニアを訪問し、会談したクラコチャル＝ズパンチッチ議長は、セルビアのEU加盟プロセスの進展を希望していると述べた。二国間関係は良好で、特に経済関係について、多くのスロベニア企業がセルビアで業務を行っており、投資の面でも関係は素晴らしく、また物品貿易でも増加が著しいとした。オルリッチ議長は、ピルツ＝ムサル大統領、ヤンコビッチ・リュブリャナ市長（セルビア系）とも会談した。

●ファヨン外相のダボス会議出席【20日】

ファヨン外相は、16日から20日、ダボスにて第53回世界経済フォーラムに出席し、2024－2025年のスロベニアの国連安全保障理事会非常任理事国選挙に向けた支持要請のため多くの二国間会談を行った。同大臣は、スロベニアが近代的、社会的、グリーンな国であり、国際的な平和、安全、安定を約束する

国であることを紹介した。スロベニアの外務大臣が同フォーラムに招待されたのは初めて。

●スロベニア・イタリア外相会談【23日】

ファヨン外相とタヤーニ伊外相は、EU外務理事会のサイドラインで会談し、両国の警察がクロアチアのシェンゲン圏加盟後の西バルカンルートでの移民の流れを管理する方法について議論した。ファヨン外相は、移民に関するデータは追加措置を必要とするほど憂慮すべきものではないと強調した。

●ゴロブ首相、ドイツによるウクライナへのレオパード戦車供与の決定を歓迎【25日】

ゴロブ首相は、ドイツがウクライナにレオパード戦車を供与し、他の国に対しても同車の供与を許可する決定をしたことを歓迎した。同首相はこの動きを主に強い象徴的なメッセージと受け止めているが、ウクライナの対ロシア戦において決定的な軍事的影響を与えるとは考えていない。

●スペイン外相のスロベニア訪問【26日】

ブルド・プリ・クラニユで開催されたスロベニア大使会議に参加したファヨン外相とスペインのアルバレス外相は、ウクライナでの戦争とスペインのEU議長国就任を考慮し、危機的状況下では結束が重要であるとの意見で一致した。

アルバレス外相は国連安保理非常任理事国入りを目指すスロベニアへの支持を表明した。また、2023年後半のスペインのEU議長期間中は、EUの結束に加え、ラテンアメリカや地中海南部との協力強化にも重点を置くとし、スペインはスロベニアを大きな同盟国として見ていると付け加えた。

●スロベニアの外交政策、第26回スロベニア大使会議【25日】

25日、ブルド・プリ・クラニユで開催された第26回スロベニア大使会議において、ゴロブ首相とファヨン外相は、EU中核国の軌道に戻るだけでなく、よりグローバルな視点を含むスロベニアの外交政策の転換に言及した。ファヨン外相は、スロベニアには制約があるが、特に国連安全保障理事会の非常任理事国入りを目指しているため、グローバルな問題について考えなければならないと述べた。また、外務省は新しい外交戦略を策定しており、同外相は、同文書は、スロベニアをEUの中核に戻し、変化した世界情勢に対応するのに役立つと述べた。

●リュブリャナでロシアのスパイ2人を逮捕【30日】

スロベニア内外情報庁（SOVA）は、国家情報局（NBI）と共に、ロシアのスパイであった外国人2名を

逮捕した。これはスロベニアの刑法に基づくスパイ行為で起訴される初めてのケースである。

拘束された2人のロシア人諜報員は、非公式情報によると、ロシア軍事情報機関GRUに勤務していた。スパイ行為と虚偽内容証明の罪で、合計8年以下の懲役に処される。非公式情報によると、容疑者らは第三国の国籍を有し、第三国のパスポートを所持し、ロシア人であることを当局に告げなかった。

容疑者がオフィスを借りたリュブリャナのパルモヴァ通りにあるオフィスビルには、多くの企業が入居しており、ほとんどのテナントが顔見知りであった。5階の質素な事務所に入居していた2人は、知り合いが少なく、近所付き合いもあまりしていなかったようである。彼らが隠れ蓑にしていた会社は、表向きは不動産や骨董品を扱っていた。

●外交団向け年次レセプション【30日】

ピルツ＝ムサル大統領とゴロブ首相は、外交団向けの年次レセプションで演説し、スロベニアの人権、法の支配、連帯の促進を強調し、これが国連安保理の非常任理事国を目指す際の指針になるだろうと述べた。ピルツ＝ムサル大統領は、大統領と政府は、スロベニアが2024－2025年の安全保障理事会の非常任理事国に選出されるよう努力するつもりだと述べた。ゴロブ首相は、スロベニアは自国の利益を促進するために立候補したのではなく、世界の安全保障と連帯の利益を促進するために立候補した旨述べた。

●ポルトガル外相のスロベニア訪問【31日】

ファオン外相は、スロベニア訪問中のゴメス・クラヴィーニョ・ポルトガル外相を迎え、二国間協力の強化を提唱し、EUと地中海諸国間の協力強化の重要性を強調した。両大臣は、特に再生可能エネルギーの分野での更なる投資可能性を共有した。ファオン外相は、ポルトガルは再生可能エネルギー源への野心的な移行において模範であると述べ、スロベニア投資促進庁とポルトガル投資促進庁(AICEP)との起業促進のための協力協定の調印予定を歓迎した。

経済

【エネルギー関連】

●政府による風力発電所ゾーニング計画【5日】

政府は、リュブリャナの南西約70km、風の強いウラス地方のDolenja Vasに6MWの風力タービンを11基設置する風力発電所の国家ゾーニング計画を立案することを決定した。必要なあらゆる調査費用は、投資企業オーストリアのアルペンアドリア・エネルギー社の子会社であるAAE GamitとAAE Venturが負担する。同社は現在国内で稼働中の2基の風力タービンのうちの1基であるDolenja Vasの2.3MW風力タービンを管理している。

●自然エネルギー目標に及ばず【5日】

スロベニアは2021年に総最終エネルギー消費量の25%を自然エネルギーにするというEU公約の目標を達成したが、これは2020年と同様にチェコとの統計的移転取引によって達成された。EU統計局によると、2021年に各国の対策と努力に基づき達成された割合は24.64%に達した。

●クルシュコ原発、環境認可を取得【16日】

クルシュコ原子力発電所は、寿命をさらに20年延長し、2043年までとするための要件である環境許可を取得した。手続きでは、耐震安全性、安全性の向上、環境災害の可能性を減らすための取り組み、気候変動や外的要因に対する耐性、スロベニア東部の水路の温暖化傾向に照らした水への影響などが評価された。協議には、近隣の全4カ国とドイツが参加した。

●ザサウイエ地方のグリーン水素製造計画【17日】

石炭を放棄し、カーボンフリー技術に注力しているスロベニア中央部のザサウイエ地方では、グリーン水素を製造するための2つの大規模施設の設立を計画している。地域開発庁(RRA)は、H2Regions.euの公募により、このプロジェクトに英国のエネルギーコンサルタント会社Element Energyから無償支援を受けられるよう手配した。

●スロベニア初の地熱発電所が着工【20日】

スロベニア北東部のレンダヴァ市で、廃坑井を利用したスロベニア初の地熱発電所の建設が開始された。120万ユーロの投資により、年間400メガワットの電力を供給する予定。ドラヴァ川の水力発電所を運営するDEM社は、このプロジェクトSI-Geo-Electricityを発表し、チェンチバ村でのパイロットプロジェクトが実行可能であることが証明されれば、同じコンセプトをスロベニア国内および海外の他の廃坑に適用することができると述べた。

●政府、地域暖房の価格上限を設定【24日】

政府は地域暖房の価格設定に関する規則を発表し、暖房価格の変動部分の許容上限料金を1メガワット時あたり98.70ユーロに設定した。この措置は1月1日から4月30日まで適用され、59の地域暖房システムのうち18のシステムで価格が引き下げられることになる。エネルギー庁の分析により、一部の地域暖房システムで暖房価格が不釣り合いに上昇していることが判明したためだと発表した。

●クルシュコ原発第2原子炉の建設計画【24日】

クルシュコ原発(NEK)のスロベニア側部分を運営するGENエネルギー社のレヴィチャル社長は、24日、報道陣に対して、スロベニアの新しい原子炉に関する決定はまだ保留中だが、事態が中断することなく進めば、2035年までに建設され、稼働する可能性がある」と述べた。現在、国家空間計画のイニシアティブが最終化されている。同社長は、2033年までに石炭を段階的に廃止する計画に鑑みれば、新たな電力生産能力を確保しない限り、スロベニアは2035年には総電力の60%を輸入に依存しなければならないと述べた。また、右不足分は、風力発電や太陽光発電への投資を増やすことで部分的に補うことはできるが、それだけでは供給が保証されるわけではない、しかし、第2原子炉があれば必要なレベルのエネルギー自給に近づくだらうとした。第2原子炉を建設するかについての最終決定は未だなされていないが、政府は本件について国民投票を行う予定であると発表しており、GENエネルギー社はプロセスを管理し、決定が行われたら計画を進められるよう準備を進めている。同社はまた、小型モジュール式原子炉(SMRs)を使用する可能性を模索しているが、レヴィチャル社長は、同技術はまだ開発中であり商業ベースに乗っていないと述べた。

●2022年、石油製品の価格が30%上昇【28日】

スロベニアでは2022年、すべての石油製品の小売価格が上昇した。レギュラーガソリンの平均価格は23%高い1.493ユーロ/リットル、ディーゼルの平均価格は29%上昇の1.634ユーロ、液化石油ガスは38%上昇の0.975ユーロとなった。ヒーティングオイルの価格は33%上昇し、1.288ユーロとなった。

【その他】

●サステナビリティボンドの発行【4日】

スロベニアは、12億5,000万ユーロの10年物サステナビリティボンド(サステナビリティ債)を発行し、さらに2045年8月満期の3.125%の債券を2億5,000万ユーロ追加で拡大したと報じられた。スロベニアがサステナビリティボンドを発行するのは今回が2回目で、サステナビリティ志向のプロジェクトに限定して資金調達が可能である。2021年6月下旬に発行された最初の10年債は、10億ユーロの規模だった。

●自動車販売台数は14%減、電気自動車は上昇【5日】

昨年スロベニアで新たに登録された自動車は合計46,339台で、2020年に比べて14.2%減少し、バンタイプの販売台数は26.3%減少して7,139台となった。電気自動車の販売台数はほぼ12%増の9,170台となった。最も人気のあるブランドはフォルクスワーゲンで7,354台、次いでシュコダ(4,575台)、ルノー(4,031台)。

●医療品卸売サルス社が同業社を買収【5日】

医薬品・医療機器卸売業者のサルスは、マリボルを拠点とする同業他社のファーマデントを846万ユーロで買収した。サルスは別の卸売業者メデイトレードを2日前に買収している。ファーマデントはマリボル地域の6つの自治体によって設立・所有されており、サルスはその6つすべてと売買契約を締結して100%の株式を取得した。

●スロベニア人の半数近くが生活費を削減【16日】

スロベニア人のほぼ半数にあたる45%が、ここ数か月の物価上昇により特定の生活費を削減し、30%が今後数か月の間に同じことをする予定であることが、世論調査会社メディアナ社の調査で明らかになった。生活費危機の中でより質素な生活を送る人々の世界平均(48%)を下回り、EU平均の54%よりも9ポイント低い。

●基本的な食品は9月以降で最も安価に【20日】

小売業者の過度な値上げを抑制するために昨年9月に開設されたウェブサイトが、第10回目の価格比較を行った。平均するとこれまでで最も低い価格となり、第1回目の価格比較時から17%低下している。

●消費者信頼感指数の悪化【20日】

3か月間増加し続けたスロベニアの消費者信頼感指数は、1月には昨年12月に比べ4ポイント、長期平均と比べると13ポイント低下した。前年同月比で11ポイント低下している。指数の4つの構成要素(現在の景気・雇用情勢や6ヵ月後の景気・雇用情勢・家計

所得の見通し)すべてが、前月比、前年同月比ともに低下した。昨年12月以降、また昨年1月以降で最も低下したのは、家計所得の見通しである。

●コペル〜ディヴァチャ間鉄道の追加軌道【24日】

政府はコペル〜ディヴァチャ間に建設中の第2鉄道路線に沿って第2の線路(複線)を建設する計画を承認した。全く別のルートを通る既存の単線鉄道は、自転車道に転換される予定。新しいルートに複線鉄道を導入することで、環境リスク、火災の危険性、騒音公害が軽減される。政府によると、このオプションは経済的にも優れているが、既存の鉄道を維持して近代化するよりも初期費用はわずかに高額になると推定されている。

●クルカ社の2022年収益は10%増【26日】

製薬グループのクルカ社は、2022年の収益が10%増加し、これまでで最高の17億ユーロを達成したと報告した。売上高は、同社の主要市場の大部分と、すべての製品およびサービスにおいて増加し、未監査の結果では、純利益は17%増加して3億6,100万ユーロとなった。

●ペトロール社、2023年に黒字転換見込み【27日】

ペトロール社の事業計画によると、2022年に損失を計上した後、本年の売上高は過去最高の102億ユーロ、純利益は1億1,710万ユーロを見込んでいいる。「エネルギー市場の厳しい状況により厳しい1年になると思われるが、2023年の計画は楽観的である」とポポビッチCEOは述べた。

●2022年の農業要素所得は19%増【27日】

スロベニアの農業要素所得は2022年に前年比19%増となった。昨年の農業生産額は、生産量が1%減少したにもかかわらず、販売価格が20%上昇したことにより引き上げられ、16億7,000万ユーロに達したと推定される。植物生産と動物飼育の価格上昇、及び生産コスト上昇が成長の要因となっている。

●本年度の高速道路改修に1億600万ユーロ【28日】

国営高速道路会社DARSは、今年3億100万ユーロ相当の投資を計画しており、そのうち1億600万ユーロは高速道路と自動車専用道路の改築・改修に充てられ、7,700万ユーロは新しい道路の建設に投資される予定。最も大規模な改修プロジェクトは、リュブリャナとマリボルを結ぶ高速道路A1のDramljeとSlovenske Konjiceの間の区間の改修で、この工事のために本年夏から来年にかけて渋滞が予想されている。

治安

●強盗事件【5日】

5日午前2時頃、リュブリャナのツェロウシュカ通りにある宿泊施設に男が侵入して受付の従業員を銃で脅し、レジから数千ユーロを奪って逃走した。

●強盗傷害事件【7日】

6日午前3時半頃、ツェリエ警察管内のプレボルト地域において、覆面をした男3人が住宅に侵入して屋内を物色していたところ家人と出くわし、家人にけがを負わせて現金を要求した。その後、犯人は現金を奪って逃走した。

●2022年、不法移民が3倍以上に【23日】

昨年、警察が国境で捕まえた不法移民は3万2,042人(前年比214%増)となった。アフガニスタンからの移民数が6,010人で最多で、一昨年のほぼ2倍となった。ブルンジからは5,000人以上、インドからは3,900人近く、パキスタンからは2,400人、そしてバングラデシュからは2,100人のが記録されている。逮捕された者のほぼ全員、31,500人近くが国際保護を求める意思を表明している。

●銀行強盗事件【25日】

25日午後3時頃、リュブリャナ中心部にある銀行に男が侵入して従業員を刃物で脅し、現金数百ユーロを奪って逃走した。

●強盗事件【25日】

25日夕方、リュブリャナのフジネ地区にある2つの店舗で窃盗及び強盗事件が発生した。一軒目ではレジ係が犯人の男を追い払ったが、その数分後、二軒目では犯人は店員の女性をナイフで脅し、レジから現金を奪って逃走した。

【スポーツ】

●リュブノ・スキージャンプ大会【1日、2日】

1日、リュブノで行われた女子スキージャンプ大会で、スロベニアのクリジュナル選手は5位、ボガタイ選手は転倒して病院に搬送された。優勝はオーストリアのピンケルニヒ選手。2日、スロベニアスキー協会は、ボガタイ選手が十字靱帯を断裂し、今シーズンの出場はできないと発表した。すでに足を固定された状態で退院しているが、今後手術を予定している。

●ドンチッチ、スロベニア観光のプロモーションを継続【8日】

NBAのルカ・ドンチッチ選手は、今年もスロベニア観光局(STO)と協力して、海外でのスロベニアのプロモーションを行う。他のどのスロベニア人よりも多い780万人のインスタグラムフォロワーを持ち、STOは、彼がスロベニアの世界的な地位を高め、アウトドア、スポーツ、観光の目的地としてのイメージを向上させているとしている。

●ダウンヒル、シュトヘッツが優勝【20日・21日】

スロベニア人スキーヤーのシュトヘッツ選手は、ドイツで開催されたワールドカップ・ダウンヒルで、足首を負傷しながらも自身10勝目となる優勝を飾った。

【生活・科学技術・その他】

●新年の朝は記録的な暖かさ【1日】

スロベニアは1月1日、気温が15度以上に上昇した地点もあり、記録的に暖かい朝を迎えた。環境庁の気象学者ブラジ・シュテル氏は取材に対し、「記録開始以来、最も暖かい正月であることは間違いない」と語った。午前7時、ドブリチェ・プリ・チュルノメリュでは15.2度を観測し、プトウイとコチェウイエでは13.8度まで上昇した。記録上、気温が10度を超えたのは初。

●中国からの帰国者の検査【4日、8日】

4日、ベシッチ＝ロレダン保健大臣は、中国からの旅行者に対する新型コロナウイルス感染症の検査について、EU加盟国の大半の例に従い、スロベニア独自にそのような措置を取ることはなく、EUレベルでの連帯が重要であると強調した。

●多くのスキー場が暖冬のため閉鎖【6日】

スロベニアの多くのスキー場が季節外れの暖かさによる雪不足のため閉鎖を余儀なくされている。降雪がなく、また気温が高すぎるため、人工雪を作ることができない。営業しているスキー場は、来場者のために最低限の滑走条件を整えようと奮闘している。スロベニア・スキー・リフト協会のバダリッチ代表は、「暖冬のせいで、スキー場が休暇前に何とか作った雪も溶けてしまった」と語った。

●スロベニアの考古学者、三千年以上前のマヤ暦を発見【9日】

スロベニア科学芸術アカデミー研究センター所属の考古学者イヴァン・シュプライツが、マヤ暦に関する画期的な研究で重要な役割を果たした。マヤの時間管理システムがこれまでの研究で示されていたよりも何百年も古く、紀元前1100年にも使われていた可能性が判明した。この研究は、メキシコ湾の南岸に広がる地域の建物や遺跡の航空レーザースキャン(ライダー画像)を用いて行われた。研究論文が1月6日、専門誌「Science Advances」にシュプライツをファーストオーサーとして発表された。論文の著者であるシュプライツとアリゾナ大学の猪俣健、ニューヨーク州ハミルトンのコルゲート大学のアンソニー・F・アヴェニの3人は、その地域にある、およそ紀元前1100年から750年の間に建設されたメソアメリカで最も古いモニュメント建築の多くが、特定の太陽方向、つまり特定の日の出または日の入りに向けて配置されていることを発見した。

●学術界のセクハラ対策の必要性調査結果【13日】

リュブリャナ大学文学部が主導した、学術界におけるセクハラやその他の性的暴力に関する研究により、

そのような暴力が頻繁に確認され、組織的な解決策が必要であることが明らかになった。パピッチ高等教育大臣は、報告された事例に対処するための手続き上のルールブックを作成すると発表した。

●カー・オブ・ザ・イヤー2023発表【16日】

スロベニアの主要な8つの自動車雑誌やその他のメディアで活躍するモータージャーナリストによる投票でカー・オブ・ザ・イヤー2023が決定し、プジョー308が1位に輝いた。2位はオペル・アストラ、3位はトヨタ・カローラ・クロスがランクイン。昨年は、トヨタ・ヤリス・クロスがタイトルを獲得。

●スロベニア企業、認知症スクリーニング検査を開発【18日】

スロベニアの神経科学企業ブレイントリップ社は、94%の精度を持つ新しい認知症スクリーニングテストを発表した。Pomni（Remember）と呼ばれるプロジェクトの一環として、ブレイントリップ社はスロベニアで約250人をスクリーニングし、脳の活動を直接測定できるBrainTrip Dementia Indexテストが最も優れたパフォーマンスを示すことを発見した。認知症は、65歳以上の10%が罹患するといわれる神経疾患であり、診断が遅すぎることが少なくない。未だ治療法は確立されていないが、早期診断により、治療の選択肢を増やすことができると、専門家は述べている。

●海外でのスロベニア語への関心低下【19日】

スロベニア近隣諸国のスロベニア人代表が、スロベニア語教師の不足と言語学習への関心の低下を懸念していることから、国民議会は政府に対し、スロベニア語とアイデンティティーの向上に関する支援の改善を勧告することを決定した。政府に対し、家庭でのスロベニア語の使用を維持・向上させるための活動やプロジェクト、世代間の知識の伝達を伴うプロジェクトなどを優先的に支援し、資金を増やすよう勧告し、また、スロベニア語の学習やスロベニアでの教育のための制度的な奨学金を推進し、世界各地でのスロベニア語の新しいコースの開設の可能性を検討するタスクフォースを設立するよう要請した。

●ゲームとeスポーツの祭典が3月に開催【20日】

家電量販店のBig Bangとマーケティング会社のSport Media Focusは、スロベニアで最大のビデオゲームとeスポーツの祭典を開催する見込みであると発表した。Game Gang Showの第1回目は、3月31日から4月2日にかけて、リュブリャナで開催される予定。主催者は、1万人以上の来場者を見込んでおり、100台以上のゲームシステムを試遊できる

ほか、eスポーツの分野では、複数のゲームを使ったトーナメントを開催する。

●流行語大賞、流行手話大賞【20日】

スロベニア科学芸術アカデミーの研究センターは、2022年の流行語大賞を「消防士」、今年の手話ジェスチャーを「全ては我々の手の中に」と発表した。「消防士」は一般市民から最も多くの票を集め（1,032票）、昨年夏にクラス地方で起きた山火事での消防士の役割を反映したものである。

●スロベニアの研究者が犬の認知症治療で賞を受賞【23日】

リュブリャナ薬学部のウルバン・コシャクとその研究チームは、犬の認知症の症状を緩和する新薬の開発で、マルセイユで開催された生命科学の初期段階の革新に焦点を当てた権威あるイベント「バイオフィット」で賞を受賞した。研究チームは、脳のプロセスに影響を与える物質であるブチルコリンエステラーゼ選択的阻害剤を新たに開発し、記憶、認知機能、学習能力を向上させた。

●ベスタジヨフカ洞窟の洞窟壁画【30日】

2009年、カルスト洞窟を調査していた科学者が、スロベニア南西部のベスタジヨウツァ洞窟で50以上の赤と黒の線と点からなる興味深い壁画を発見した。このような発見はスロベニアでは初めてで、少なくとも7,000年前のものだと考えられている。

「桜プロジェクト」の紹介

スロベニアの各地では、2021年の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催、2022年の日・スロベニア外交関係樹立30周年を記念して、スロベニア日本ビジネス協会（SJBC）の協力の下、日本企業と地方自治体等が共同して日本のシンボルである桜を植樹する「桜プロジェクト」が実施されています。

これまでに、日本企業等8社、11地方自治体等のパートナーシップにより、12の地域で合計385本の桜が植えられました。早ければ今春には、きれいな桃色の花を咲かせてくれることでしょう。是非、お近くの桜並木へ足を運んでみませんか。花見イベントが計画されている地域もあります。

今回植えられた桜が、これからも長きにわたって美しい花を咲かせ、日本とスロベニアの友好関係の証として多くの人の目を楽しませることを期待しています。

桜プロジェクトの植樹レポート及び国内の植樹地を示す桜マップは[こちら](#)

自治体	企業	植樹日	品種（本数）	植樹場所、住所
グロスプリエ市	Toyota Adrija	2021 年 10 月	Prunus serrulata 'Kanzan' (80 本)	Adamičeva cesta (Pod gozdom) 沿い、1290 Grosuplje (道路沿い 250m の並木)
レンダバ市	Daihen Varstroj	2022 年 3 月	Prunus serrulata 'Kanzan' (60 本)	Kolodvorska ulica 7, 9220 Lendava (サッカー場付近 約 690m)
ムルスカ・ソボタ市	Zaria	2022 年 3 月	Prunus subhirtella 'Accolade' (30 本)	Bakovska ulica 41, 9000 Murska Sobota (Soboško 湖畔遊歩道、EXPANO)
コチェウエ市	Yaskawa, SiDG	2022 年 3 月	Prunus serrulata 'Kanzan' (30 本)	Dimnikarska pot, 1330 Kočevje (Rinža 川沿い 150m の並木)
ロガテツ市	Sumitomo Lonstroff	2022 年 4 月	Prunus serrulata 'Kanzan' (3 本)	Pavšičeva ulica 29, 1370 Logatec (ラウンドアバウト付近)
ブレッド市	日本企業	2022 年 4 月	Prunus serrulata 'Kanzan' 及び Prunus serrulata 'Amanogawa' (12 本)	- Hotel Vila Bled, Cesta svobode 18, 4260 Bled (庭園内) - Villa Zlatorog, Veslaška promenada 9, 4260 Bled (庭園内) - Hotel Triglav, Kolodvorska cesta 33, 4260 Bled - Zdraviliški park, Cesta svobode 7, 4260 Bled - Bled kindergarten, Trubarjeva cesta 7, 4260 Bled - Josip Plemlje Elementary school, Seliška cesta 3, 4260 Bled
ドムジャレ市	Kansai Helios	2022 年 5 月	Prunus Kiku Shidare Zakura (85 本)	Papirniška cesta 22, 1230 Domžale (Kamniška Bistrica 川沿い)
ポストイナ市	日本企業	2022 年 5 月	Prunus serrulata 'Kanzan' 及び Prunus Serrulata Royal Burgundy (7 本)	- Titova cesta 2, 6230 Postojna (City Park 内) - Notranjski muzej, Kolodvorska cesta 3, 6230 Postojna

自治体	企業	植樹日	品種 (本数)	植樹場所、住所
スロベン・グラデツ市	新潟県妙高市	2022 年 5 月	Prunus serrulata 'Kanzan' (3 本)	Francetova cesta 5, 2380 Slovenj Gradec (Culture hall 隣)
ラドリエ・オブ・ドラヴィ市	日本企業	2022 年 10 月	Prunus serrulata Royal Burgundy (21 本)	Spodnja Vižinga 1, 2360 Radlje ob Dravi
マリボル市	日本企業	2022 年 11 月	Prunus subhirtella 'Pendula Rose + Prunus serrulata 'Pink Perfection' (22 本)	Rakušev trg, Partizanska cesta 6a, 2000 Maribor
リュブリャナ市 (リュブリャナ大学)	山梨大学	2022 年 12 月	Prunus serrulata 'Kanzan' (32 本)	・ Academy of Fine Arts and Design (Erjavčeva cesta 23, 1000 Ljubljana) ・ 生物工学部 (Večna pot 83, 1000 Ljubljana) ・ 経済学部 (Kardeljeva ploščad 17, 1000 Ljubljana) ・ 電気工学部 (Tržaška cesta 25, 1000 Ljubljana) ・ 土木工学部 (Jamova cesta 2, 1000 Ljubljana) ・ 社会福祉学部 (Topniška ulica 32, 1000 Ljubljana) ・ 芸術学部 (Zavetiška ulica 5, 1000 Ljubljana) ・ 教育学部 (Kardeljeva ploščad 16, 1000 Ljubljana)

※以下は、桜プロジェクト以外で植樹されたもの

リュブリャナ市	1999 年、日本の衆議院議長（日本さくらの会会長）からスロベニアの国民議会議長に寄贈されたものを植樹 ・ リュブリャナ大学 ・ リュブリャナ植物園 (Ižanska cesta 15, 1000 Ljubljana) ・ 生物工学研究所, 生物工学部 (Večna pot 111, 1000 Ljubljana) 2000 年、清子内親王殿下ご訪問を記念して植樹 ・ Navje 公園 (Vurnikova ulica 5, 1000 Ljubljana)
ブレッド市	2013 年、秋篠宮・同妃両殿下ご訪問を記念して植樹 ・ ブレッド市庁舎 (Cesta svobode 13, 4260 Bled)
ゴルニャ・ラドゴナ市	2022 年、日本が第 60 回 AGRA ヘパートナー国として参加したこと記念して植樹 ・ Pomurski sejem d.o.o. (Cesta na stadion 2, 9250 Gornja Radgona)

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281又は8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当て、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧下さい。http://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_si/Zivljenje_na_Japonskem.html

【領事班からのお知らせ】

●海外に住んでいる人が、外国にいながら国政選挙に投票できる制度を「在外選挙制度」といい、これによる投票を「在外投票」といいます。在外投票ができるのは、日本国籍を持つ18歳以上の有権者で、在外選挙人名簿に登録され、在外選挙人証を持っている人です。在外選挙人証の申請から受け取りまでには通常2か月程度の期間を要しますので、早めの申請を行ってください。

●スロベニアに90日以上滞られる方は、在留届を提出してください。(※インターネットで提出をされると、変更届・帰国届もオンラインで手続きできるため、たいへん便利です。)

住所・連絡先の変更、同居家族の追加など、提出済み在留届の記載事項に変更が生じた場合は「変更届」を、帰国や当館管轄地域外へ転出する場合は「帰国・転出届」を必ずご提出ください。特に、当館からの重要な連絡が確実に皆様へ届くよう、Eメールアドレスや携帯電話番号の変更は速やかに届出をお願い致します。

【外務省オンライン在留届】: <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

●当地での在留許可取得や在留許可延長手続きの際に必要な警察(犯罪経歴)証明については、申請から交付までに約2～3か月かかります。お手続きに必要な期間をあらかじめ考慮していただき、余裕を持って申請を行っていただくようお願いいたします。

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

本サイトでは、各国・地域での新型コロナウイルスの発生状況、新型コロナウイルス(日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限)等の情報を掲載しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することが出来ます。ぜひご活用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

3. スロベニア国立公衆衛生局は、国内状況や感染予防の方法等について公開しています。

<https://www.nijz.si>

(主にスロベニア語)

4. スロベニア政府は、新型コロナウイルスに関する特設サイトを開設しています。コロナウイルスに関連した保健省の特設電話番号はこちらに掲載されています。

<https://www.gov.si/en/topics/coronavirus-disease-covid-19/>

5. 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～(総理官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

6. 新型コロナウイルス感染症に関する情報について(厚生労働省)https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

7. リュブリャナ空港ホームページ

<https://www.fraport-slovenija.si/en.html>

8. スロベニア政府の下記のツイッターアカウント等で、随時情報発信が行われておりますので、こちらをご確認ください。

●政府(英語):<https://twitter.com/govslovenia>

●政府(スロベニア語):<https://twitter.com/vladars>

(英語版と若干内容が異なります。)

●外務省:<https://twitter.com/mzzrs>

(主にスロベニア語)

●保健省:<https://twitter.com/minzdravje>

(主にスロベニア語)

【広報文化班からのお知らせ】

●スロベニア語字幕付 Japan Video Topics 配信中

当館 YouTube チャンネルにおいて、日本の文化や技術を紹介する Japan Video Topics のスロベニア語字幕版(英語音声)を配信しております。

[Embassy of Japan in Slovenia - YouTube](#)

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>